

令和4年度広島県教育賞受賞者

○個人

(年齢は令和4年12月21日現在)

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功績等
社会教育	きよ はら ひで とも 清 原 秀 友 (68歳)	東広島市 社会教育委員会議 議長 (東広島市)	平成15年から東広島市社会教育委員を務め、通算16年以上にわたり、社会教育委員会議議長として委員の意見を取りまとめ、指導・助言をするなど、会議の円滑な運営に貢献している。 東広島市生涯学習推進会議の委員として、東広島市の社会教育の推進に寄与した。 また、広島県社会教育委員連絡協議会で理事を務め、県全体の社会教育推進に貢献している。 東広島市青少年問題協議会委員、青少年育成東広島市民会議監事なども務め、市民を対象とした各種啓発活動への参加など、市内の青少年健全育成の推進に深く携わっている。
	はし もと みつぐ 橋 本 貢 (73歳)	ボーイスカウト 広島県連盟 理事長 (広島市)	広島第30団発団時から団委員長に就任し、約44年間、広島第30団の取りまとめ及びボーイ隊のスカウトに対する指導・教育を進め、団の育成発展に努めている。 また、平成4年から広島地区の推薦により広島地区連絡協議会地区副委員長に就任し、委員長を補佐するとともに、広島地区のスカウト教育の活性化等を大いに推し進めた。 その他にも、日本連盟が4年毎に開催する日本スカウトジャンボリーに平成2年から現在まで欠かさず奉仕員として参加し、参加スカウトのために真摯に活動を行っている。 平成23年からボーイスカウト広島県連盟理事に就任し、スカウト募集について指導・助言を行い、平成26年からは、ボーイスカウト広島県連盟の理事長に就任し、理事会をとりまとめ、広島県内スカウト教育の一層の充実とスカウト活動の発展に大きく寄与した。
	み と はつ と 三 戸 初 人 (61歳)	広島県子ども会連合会 副会長 (呉市)	平成19年から広島県子ども会連合会副会長に就任し、3代の会長の下、15年にわたり副会長として会長を支えるとともに、財務担当として適正な会計業務を行っており、平成27年には、前年度の余剰金を活用し、新しい事業として「子ども会安全啓発指導者養成講習会」を開催し現在も継続事業として実施している。 また、「市町子ども会活動補助金事業」において、各地区から申請の事業内容について調査ヒアリングを行い、助成金額を増やす見直しを行うなど、地域の活動の活性化に努めている他、広島県子ども会連合会の一般社団法人への移行に向けた複雑な財務手続の取りまとめなどを通して組織変更に尽力し、適切な組織運営に寄与した。 平成15年から呉市子ども会連合会の会長として、「呉子ども祭」の実行委員長を務め、衰退しつつあった祭を大幅に改革するなど、子ども会を活性化させた。

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功績等
社会 教育	村瀬祐治 <small>むら せ ゆう じ</small> (81歳)	世羅町 社会教育委員会 議長 (世羅町)	<p>平成17年から、世羅町社会教育委員として社会教育行政の推進に尽力している。平成23年からは世羅町社会教育委員会議長として、委員の意見を取りまとめ、会議の円滑な運営に貢献している。</p> <p>また、広島県社会教育委員連絡協議会の理事を務め、県全体の社会教育推進に尽力している。</p> <p>平成21年に発起人として、自ら地域に働きかけ、NPO法人せらマルベリークラブを立ち上げ、10年以上にわたり、里山の生きものの観察等をする里山楽校を年に2回開催し、自然観察や歴史を学ぶ体験活動の機会を提供することで、里山や森林の活用を通じた地域の活性化や、地域住民を対象にした社会教育を精力的に展開している。</p>